

平成 30 年度 こどもミュージアム 2018「おしゃべりゴンドリエーレとボン・ビアッジオ！」
報告書

本年のこどもミュージアムは家族で楽しめるサマープログラムと位置づけ、“旅するように美術館を巡り、作品鑑賞をする”をコンセプトに、「おしゃべりゴンドリエーレとびじゅツアー(ワークシート&スタンプラリー)」「アートコンパスをつくらう」「アーティストワークショップ『佐藤悠の「はなし」「つたえる」美術館』」の3つのプログラムを展開しました。三岸節子が描いたヴェネチアの運河に浮かぶゴンドラと、その船頭であるゴンドリエーレをモチーフに、節子が描いた武士と鳥の埴輪をメインキャラクターとし、「良い旅を(イタリア語でボン・ビアッジオ)」という挨拶をタイトルに組み込みました。



- 事業名称:こどもミュージアム 2018「おしゃべりゴンドリエーレとボン・ビアッジオ！」
- 会 期:2018 年 7 月 20 日(金)~8 月 31 日(金) 37 日間(開館日数)
- 入館者数:11001 人(うち小中生 1413 名、未就学児 1600 名)※特別展、常設展、貸しギャラリーの観覧者を含む



● 関連事業報告:

1. おしゃべりゴンドリエーレとびじゅツアー (ワークシート 5 問+スタンプラリー5 箇所)

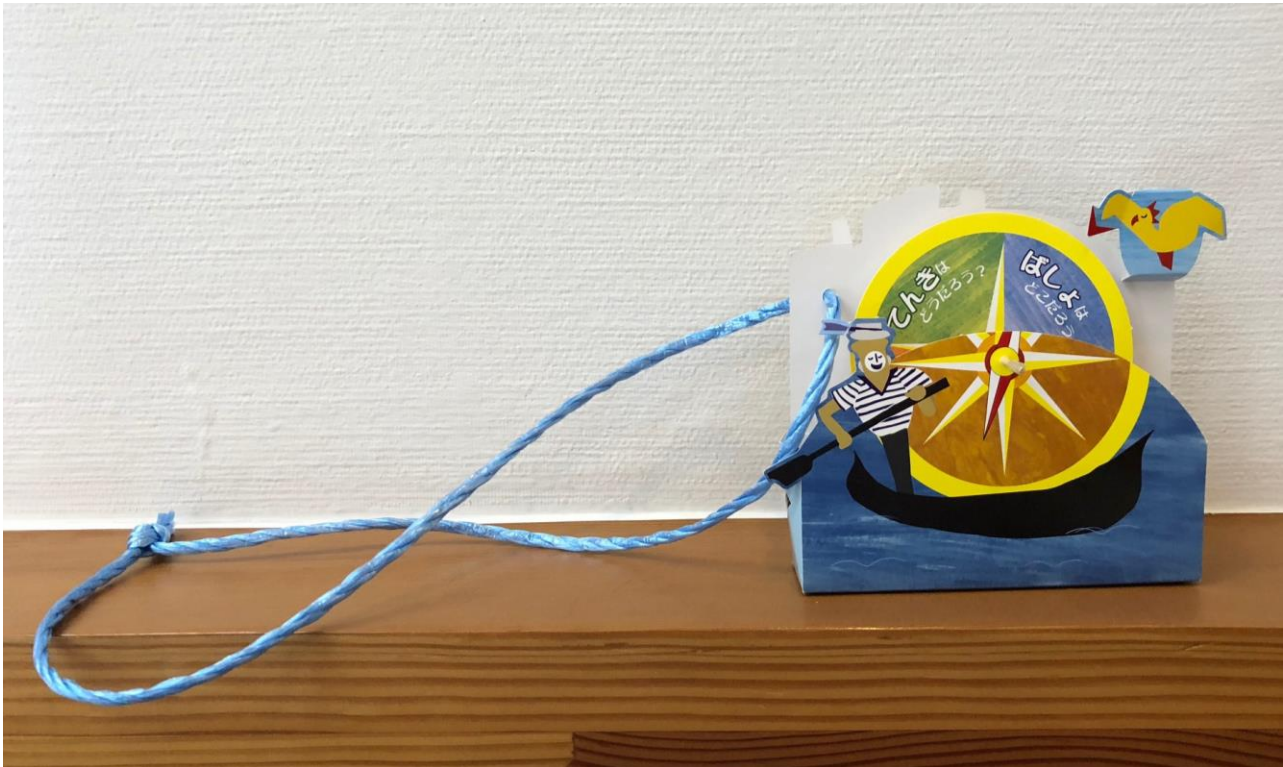
会期中随時参加可

参加人数:約 1000 名

常設展示室で作品を見ながら、「アートコンパス」を使ってワークシートに自分で考えた答えを記入していきます。

アートコンパスをまわして、[きせつはいつ?・じかんはなんじくらい?・てんきはどうかろう?・ばしょはどこだろう?]の4つの質問のうち、表示された1つの質問に答えます。

また、館内 5 箇所にあるスタンプを集めます。





びじゅツアーポイント①



参照作品：群がる馬（1938 年）

びじゅツアーポイント②



参照作品：静物（1943 年）

びじゅツアーポイント③



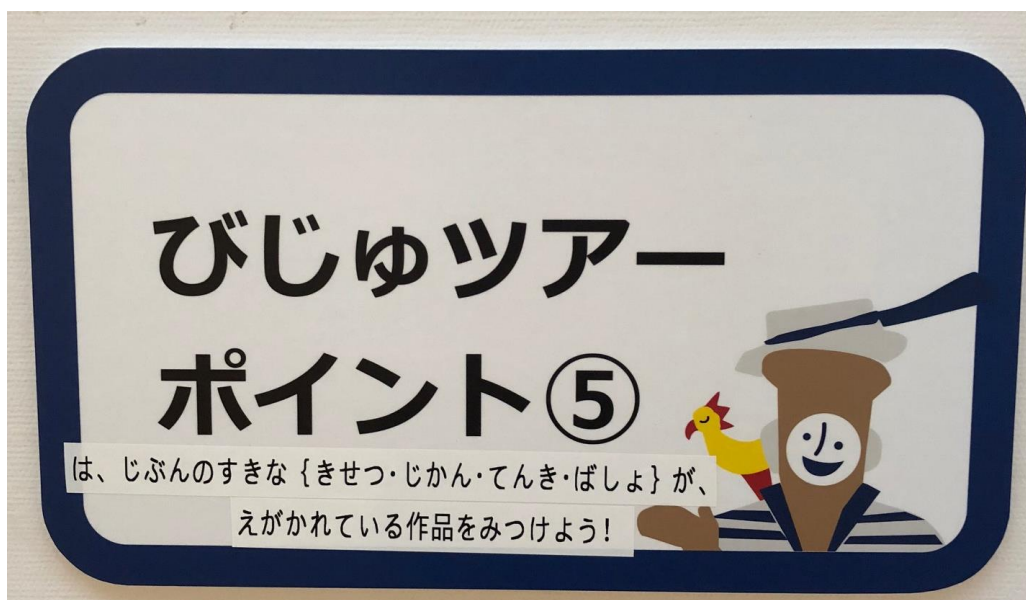
参照作品：ニースのプロムナードサングレ（1980 年）

びじゅツアーポイント⑤



参照作品：小運河の家(1) (1972 年)

びじゅツアーポイント⑤



アートコンパスをまわして出た目[きせつ・じかん・てんき・ばしょ]のうち、自分の好きな[きせつ・じかん・てんき・ばしょ]が描かれている作品を探し、そのタイトルを記入します。

2. アートコンパスをつくろう

「おしゃべりゴンドリエーレとびじゅツアー」で使用するアートコンパスを作るコーナーをロビーに設置しました。

※8月15日時点で予定枚数に達したため配布・制作コーナーを終了し、会期末までは完成品のアートコンパスを受付で貸出しました。



3. アーティストワークショップ「佐藤悠の『はなし』『つたえる』美術館」

言葉にして伝えたいこと、言葉にできないこと、
はなして つたえて かんじて それでもつたわらなくて
「わたし」と「あなた」の あいだに あらわれるもの。
2つのあそびを通して「はなし」「つたえる」ことを楽しむ美術館です。

1 つめのあそび 『いちまいばなし』

一枚の紙に絵を描きながら、「なにが？」「どうした？」「どうなった？」とその場にいる人にお話の続きを順番に聞いて、みんなでお話を作ってゆきます。

2 つめのあそび 『親子の糸でんわ鑑賞』

親子で作品を見ながら、糸でんわを使ってお話しします。こそこそ、ひそひそ、感じたことを言葉にして伝えてみよう。
思ったことを伝えたと、聞いた人はどんな風に感じるのかな？

日時:8月2日(木)～8月5日(日) 各日 11時～／13時～／15時～(1日3回、各回所要時間約70分)

対象:親子(年長以上)

講師:佐藤悠(アーティスト)

1985年三重県生まれ。2011年、東京芸術大学先端芸術表現科修了。一見何も無いところから、誰かが関わる事で表現が紡がれてゆく現場を作っている。主な参加プロジェクト・展覧会は、2015年「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ」(十日町市／新潟)、2016年「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」(県北地域／茨城)、2018年 宇都宮美術館サテライト企画展 Vol.009「佐藤悠 こととばとことばと」(宇都宮市民ギャラリー／栃木)など。

ワークショップ参加人数: 2日(木) 23名
3日(金) 16名
4日(土) 18名
5日(日) 33名
計 90名



プログラムの初めに、アイスブレイク(場をほぐす活動)として「いちまいばなし」を行います。
参加者が登場人物やストーリーを決め、前に発言した人のお話からさらに想像をふくらませ、話をつなげていくプログラムです。



本日のプログラムの流れや狙いについて説明しています。
親子で糸電話をつかって、作品についてお話をします。保護者がインタビュー役&聞き役、子どもは話す役です。
保護者には、子どもの発言内容をよく覚えてもらい、鑑賞タイムが終わった後に発表・共有します。



最初は1つの作品を5分鑑賞します。飽きてしまう子もいるかな？と心配していましたが、年長から小学6年生まで、どの子も集中して鑑賞し、お母さん・お父さんとお話ができいていました。飛び入り参加で年中やもっと小さい子たちもいましたがこちらの心配もなんのその、落ち着いて作品鑑賞が出来ておりその集中力に驚かされました。



作品鑑賞が終わってからは発表タイム。子どもとどんな話をしたか、保護者が発表します。年齢による発言内容の違いが見えたり、同じ年齢でも全く異なる観点を持っていたり。同じ絵でも見え方が千差万別であることを改めて実感しました。



2回目は作品を変えて鑑賞します。今度はさっきよりちょっと長い10分間、1つの作品を鑑賞します。「集中力の波があるので、飽きてしまう時間が絶対来ます」と佐藤さん。飽きたり疲れしたりしたら、椅子に座ってちょっと休憩してみたり、ほかの作品を眺めたりしてもOK。少し時間が経つとまた集中力が復活し、絵に視線が戻っていきます。



2回目の鑑賞を経て、発表タイム。先ほどよりも鑑賞に慣れてきて、多くのことを発見してくれる子が多かったです。このあと、保護者は佐藤さんと“親ミーティング”を行い、親子での美術鑑賞のコツや今回のプログラムの狙いなどを改めて説明しました。

その間、子どもたちは展示室で「このえ、なんのえ？ゲーム」を行いました。作品の一部だけが印刷されているプリントを配り、どの作品なのか探すゲーム。すぐ見つけてしまうかと思いきや意外と白熱し、とても盛り上がりしました。

4.博物館・美術館で自由研究！



博物館・美術館で 自由研究！

一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館の 2 館で指定のワークシートを完成させた方に、自由研究に役立つ学習セットをプレゼントしました。(中学生以下対象)

一宮市三岸節子記念美術館では、自由研究ブースを設置。三岸節子やその家族、美術館に関する本を配架すると共に、「自由研究おたすけプリント」を小学生～中学生の学年ごとに作成・館内配布しました。

 **博物館・美術館で
自由研究！**

ひゅうけんきゅうおたすけプリント

小学校低学年むけ

おすすめテーマ

- びじゅつかんにいってきたよ！
- いちのみやしのゆう名人 三ざしせつ子さん
- せつ子さんのまねをしてえをかいてみたよ！ など

 ● **せつ子さんってどんな人なの？**

三ざしせつさんは 1905 (めいじ 38) 年に生まれたが (えをかきしことをする人) です。
このびじゅつかんのあるほしに、せつ子さんのおうちがありました。
とうきょうでえのべんぎょうをしたあと、がかの三ざしこうとうとけっこんし、
3 人の子どもをそだて、くろうしながらもえをかきつづけました。
49 さいになつてからはじめてフランスにいき、
また 63 さいのときにフランスにいき、ごんとは 20 年かんフランスで生かつしながらえをかきました。
84 さいのときに日本にもどり、1999 (へいせい 11) 年に 94 さいでなくなるまでえをかきつづけました。

● **なんでびじゅつかんができたの？**

三ざしせつさんは、1994 (へいせい 6) ねんに、
女せいようが (せいようふうのえをかきか) として
はじめて文かこうろうしゃ (文かをひろめることをとくに
がんばった人) にえらばれました。
いちのみやしで生まれたすばらしいがかをきねんして、
せつ子さんの生まれたえのあとにつくられたのが
このびじゅつかんです。



● **どんなふうでえをみたらいいの？**

びじゅつかんでえの見たがわからないという人は、こんなふうに見てみましょう。
また、ながかいてあるかいっしょにきた人とはなしながら見てみるとたのしさがひろがります。



- ・ 立って見る
- ・ はなれたりちかづいたりして見る
- ・ 見えかたはどうかわる？
- ・ すきなえをさがしてみよう！



- ・ しゃがんで見る
- ・ ちかづいて見上げて見る
- ・ いろいろかたはどんなふうかな？

● **せつさんはなにをつかってかいているの？**



「あぶらえのぐ」というえのぐをつかっています。
みなさんが学校でよくつかうのは「水ざいえのぐ」です。
「水ざいえのぐ」は水にとかしてつかうえのぐですが、
「あぶらえのぐ」はせんようのあぶらにとかしてつかいます。
上からたくさんぬりかざねられるのがとくちょうです。

© 三岸節子記念美術館

取材対応

FMいちのみや「知っトク！いちのみや」 7 月 20 日放送

岐阜新聞 レジャー面「おすすめコーナー 糸電話で名画を語る」8 月 10 日朝刊

ケーブルテレビ ICC 一宮市広報「I LOVE いちのみや」vol 436 「この夏、博物館・美術館へ遊びに行きませんか」 8 月 6 日～12 日放送